

消化管の病気

食道 ▶ 食道炎・食道内異物ほか

胃 ▶ 急性胃炎・慢性胃炎・出血性胃腸炎・
胃内異物・腫瘍・胃捻転 ほか

腸 ▶ 腸炎・吸収不良症候群・食餌性過敏症・
腸閉塞・腸重積・直腸脱・腫瘍 ほか



食欲がない



下痢や排便回数が
増えている

主な症状



嘔吐している



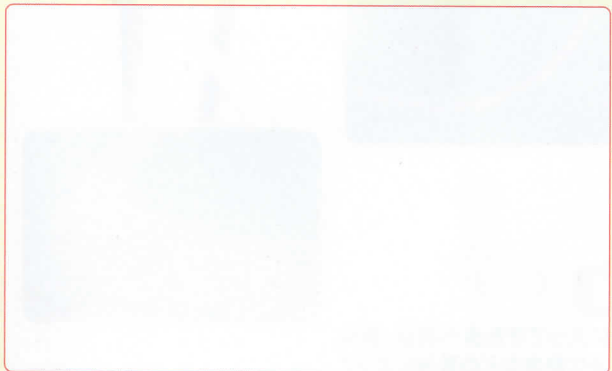
便に血や粘液が
混ざっている



排便ができないようだ



毎日のスキンシップを通して、
小さな変化に気づいて
あげることが大切です。



DAINIPPON
SUMITOMO
PHARMA

大日本住友製薬株式会社
アニマルサイエンス部



犬の消化管のはたらき

おいしい食べ物を栄養へ変えてくれる大切な消化管。
ちょっとしたことで調子が悪くなる、
実はとてもデリケートな臓器なのです。
さあ、一緒に「イヌの消化管のはたらき」を学んで、
愛犬のちょっとした変化に気をつけてあげましょう。

監修: 北里大学 獣医学部獣医学科 小動物第3外科学研究室
教授 岡野 昇三



消化管とは？ 🐕

食べ物が入る口から、ウンチとなってでてくる肛門までの「1本の管」を消化管といいます。消化管はその働きによって「口→食道→胃→十二指腸→小腸→大腸」に分けられ、それぞれが正常に働くことによって食べ物を栄養へと変えることができます。

消化管の中でも、食べ物のほとんどを消化する胃、十二指腸の働きを正常に保つことが大切です。

消化管の状態が悪くなる原因

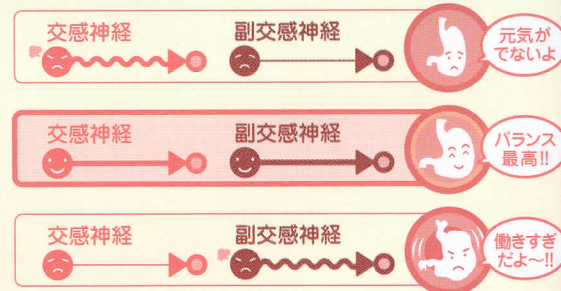
- ・寄生虫、ウイルス、細菌などの微生物感染
- ・年齢 ・ストレス ・食事 など

胃・十二指腸で起こるこんな話

消化管は自律神経系と呼ばれる神経によって調整されています。

自律神経系は交感神経系と副交感神経系に分けられ、**交感神経系の働きが強いと胃・十二指腸の活動が鈍り、逆に副交感神経系の働きが強いと活動が活発になります。**

このように正常な胃・十二指腸の働きは交感神経系と副交感神経系のバランスによって調整されています。



嘔吐・食欲不振・下痢などの症状がみられた場合は消化管が正常に働いていない可能性があります。異変を感じたらすぐ獣医師にご相談ください。

*「消化」とはタンパク質・炭水化物などの栄養素が分解されて、生体に吸収・利用しやすい物質となっていく行程をいいます。例えば、タンパク質であればアミノ酸、炭水化物であればブドウ糖などに分解され、生体に利用されます。

食べ物の旅 🐕

